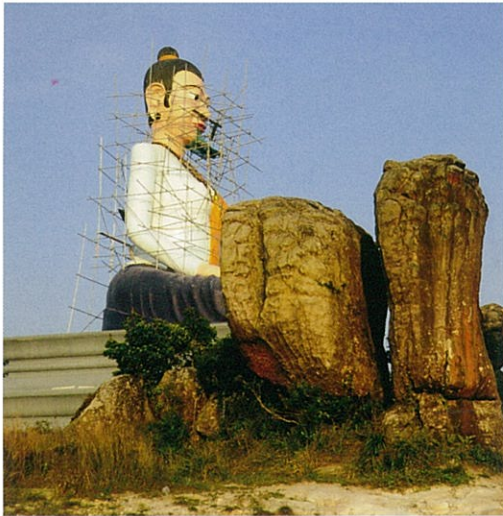




# カンボジア国民が愛する CAMBODIA



## 備考

NPO法人シンセン理事/日本画家山田隆量氏の協力が 必須と考え本企画への参画を依頼。山田氏は、カンボジア王国の王立大学客員教授として教鞭をとり、近年はカンボジアにて、ヤマダ・アート・スクールを開校して運営に携わっています。

●カンボジア王国の若者たちに、デジタルカメラを(中古)提供。若者1名につき平均100カットの撮影依頼。名古屋大学に留学中のカンボジアの若者たちにも写真撮影を依頼。写真データのセレクトは NPO法人シンセン が責任をもって行います。写真のセレクトはNPO法人理事長 木澤良司 カメラマン浅見洋氏両名に依頼。

(両名ともプロのカメラマンとして30年以上のキャリアあり)

## 柳ヶ瀬商店街でカンボジア写真展

### 写真パネル展

岐阜市柳ヶ瀬商店街の空き店舗を利用し、カンボジア王国・日本国友好 60 周年を記念しての写真パネル展を開催します。展示する写真はカンボジアの若者たちが撮ったスナップ写真です。

「カンボジア国民が愛する CAMBODIA」写真展 と題して、カンボジア王国で生まれ育ったカンボジア王国の若者たちが自らの様子をデジタルカメラで捉えた、カンボジア王国の今の写真を展示します。カンボジア人自らの目を通した風景や人間模様が写し出され、他国の人が観光などで捉えた瞬間とは異なり、何気ないカンボジアの日常を切り取ったスナップ写真です。

### 企画趣旨

私たち日本人が「カンボジア王国」のイメージを問われた時、多くの方々は、アンコールワット、貧困、地雷、内戦、難民などを思い浮かべる事でしょう。悲しい事に、今もなお永きに渡り繰り広げられた内戦により、随所に痛々しい傷跡を残しているのも事実です。しかし、現在のカンボジア王国は、治安も安定し、全人口の約半分が 20 歳未満の若者で占められています。若く、活力にあふれ次代の目紛しい発展が期待されるカンボジア王国。私達は、カンボジア王国で生まれ暮らすカンボジアの若者たちに、デジタルカメラを託し、若者自らが捉えたカンボジアの今を切り撮る事で、よりリアルなカンボジアの人々の「life」を日本の皆様を感じ取っていただけるモノと確信しております。この写真展が、カンボジア王国の理解をより一層深め、両国の良好な関係が続き、ひいては世界の国々にも理解を深める機会になればと思いい立案いたしました。

協力/後援：(公財)岐阜国際交流センター/ASEPSS ASEAN project support system  
在名古屋カンボジア名誉領事館/office YAMADA  
岐阜カンボジア友好協会/株式会社ジーアイシー

© (公財)岐阜国際交流センターから多文化共生事業の助成金を活用しています。

企画：NPO法人シンセン 名古屋市東区葵3-14-20 エルシド5F2階



写真展の期間

11月7日～10日間

柳ヶ瀬商店街

レンガ通り

日の出町通り

柳ヶ瀬本通り

を中心に空き店舗の

シャッターに展示するため、

期間中はいつでも観覧できます。